

社会福祉法人 本郷の森 平成 29 年度 事業報告書

『ホームいちょう』 『第2ホームいちょう』

1. 事業全体としての振り返り

⊕ホームいちょう

4月より前年度まで代替え世話人として勤務をしていたMが常勤職員となり新体制となった。また5月～6月にかけては学生の代替世話人を多く採用することができ、土日祝日の体制も整えることができたが、一部に無断欠勤などが度々見受けられたので該当者へ契約解除の申し入れを行った。8月後半には産休に入る第2ホーム職員の補充要員としてMが転属。代わりとしてS・O・Tの3名により年度内を日替わり勤務でホーム業務に携わることとなった。イレギュラーではあったがホーム業務の実態把握、環境・業務改善の提案など非常に大きな意味があったと思われる。また地域や住民との関わりが稀薄なことが兼ねてよりの課題であったが、隣近所を中心に徐々に小さな関わりを形成することができてきたことは今後の一步に繋がっていくのではないかと期待される場所である。メンバー支援に関しては長年の既存の在り方だけに捉われず、来年度以降は新しい試みを導入していける見通しを立てていきたい。

⊕第2ホームいちょう

4月から職員が0・Sの2名の体制になり、10月より0が産休に入り、それに伴い8月後半からMが第2に勤務、0が火・金の勤務と年度内に大きな人事異動があったが、そのことで大きく影響を受けることもなく、運営されている。皆で外食（食のバリエーションアップや0Bと現役メンバーの交流を目的としている。）にでかけたり、クリスマスのイベントの飾りつけを一緒に行うなど、引き続きアットホームな雰囲気での1年だった。ホーム内の支援では、一人暮らしにむけての準備・疲れのないようなスケジュールの確認・食生活への相談など個々にそくした支援に力をいれ、ケア会議・計画のモニタリングに同席、入居者の日中活動の見学、5月に卒業したメンバーへの訪問、H30.3月に卒業したメンバーの家探しなど多岐にわたり精力的にサポートしていた。また、単身サポート利用の支援など対外的な支援にも関わることができた。

2. 利用者状況（H30年3月末日現在）

(1)入居者状況

⊕ホームいちょう【定員7名】 介護サービス包括型事業

ROOMNo.	年齢	性別	利用開始	日中活動	生活保護	居住地
102号室(アパート)			H29年12月	デイケア	○	
201号室(アパート)			H29年4月	就労中	—	
202号室(アパート)			H29年4月	B型	○	
203号室(共同)			H28年7月	B型	—	

204 号室(共同)	■■■■■	H27 年 10 月	B 型	—	■■■■■
301 号室(共同)	■■■■■	H27 年 10 月	A 型	○	■■■■■
302 号室(共同)	■■■■■	H29 年 11 月	B 型	○	■■■■■

④第2 ホームいちょう【定員5名】 介護サービス包括型事業

ROOMNo.	年齢	性別	利用開始	日中活動	生活保護	居住地
101 号室(共同)	■■■■■		H29 年 1 月	B 型	○	■■■■■
201 号室(共同)	■■■■■		H29 年 6 月	就労・B 型	○	■■■■■
202 号室(共同)		空室	-	-	-	-
203 号室(共同)	■■■■■		H28 年 8 月	就労	—	■■■■■
201 号室(サテライト)	■■■■■		H29 年 1 月	就労	—	■■■■■

※201 号室・H30 年 5 月 入居の男性が卒業、一人暮らしを開始

202 号室・H30 年 2 月 入居の女性が卒業、一人暮らしを開始

(2) 利用終了者の状況について

④ホームいちょう

共同生活援助	性別・年齢	利用期間	退去時の状況
102 号室■■■■■	■■■■■	H26 年 10 月～H29 年 7 月	一人暮らし
302 号室■■■■■	■■■■■	H28 年 1 月～H29 年 10 月	実家へ

※302 号室の利用者は家庭の事情により退去となった。

④第2 ホームいちょう

共同生活援助	性別・年齢	利用期間	退去時の状況
201 号室■■■■■	■■■■■	H26 年 5 月～H29 年 5 月	一人暮らし
202 号室■■■■■	■■■■■	H27 年 3 月～H30 年 2 月	一人暮らし

(3) 新規利用者受入に関して

募集事業所	審査面接日	居室タイプ	募集人数	申込み数	文京区民
ホームいちょう	9/12	共同タイプ	1 名	3 名	2 名

※【ホームいちょう】当初は1名の募集であったが、後日に利用者1名の自主退去希望が出たので、もう1名を追加して合計2名の内定とした。

3. メンバー・OB 等への支援

(1) 夕食会

基本的に毎週木曜日に開催、第2週はOBメンバーも参加可能な形式で開催。

費用は200円～500円程度。()内は、OBの参加人数。

実施回数

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ホーム	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3	4	5	47
いちよう	(2)	(3)	(4)	(3)	(6)	(5)	(2)	(3)	(4)	(5)	(4)	(7)	(48)
第2ホーム	4	3	5	4	5	4	4	4	4	3	4	4	48
いちよう	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(38)

(2) 行事・出来事

日程	内容	メンバー参加人数	
		ホームいちよう	第2ホーム いちよう
4月	3日	トランプ大会(お花見見送りの為)	2名
	5日	お花見(六義園)	3名
	13日	メンバー卒業お祝い会	9名(OB3名)
	30日	根津神社 つつじ祭り(茶話会)	5名(OB3名)
5月	12日	メンバー卒業お祝い会	5名(OB1名)
6月	14日	防災訓練(地震想定)	5名
	26日	外食行事(東大メトロ食堂)	6名
7月	3日	ボーリング大会	2名
	5日	防災館見学	2名
	7日	町内会七夕飾り	5名
	9日	ホーム合同行事(東京ディズニーシー)	13名(OB6名)
	17日	かき氷	7名
8月	10日	メンバー卒業お祝い会	10名(OB6名)
9月	1日	外食行事(やよい軒)	7名(OB3名)
	8日	心のふれあいバスハイク	1名
	12日	ホームいちよう入居者選考面接会 3名応募	
	28日	防災訓練(地震想定)	4名
10月	30日	ハロウィン茶話会	4名
11月	21日	外食行事(メトロ食堂)	7名(OB3名)
	30日	防災訓練(火事想定)	4名
12月	21日	クリスマス会	8名(OB3名)
	31日	年越しそば	5名

1月	1日	お雑煮	9名(OB4名)	
		後楽園プロレス観戦	2名	
	5日	ふれあいコンサート		5名
	22日	大雪の為、職員臨時退勤(18時)		
2月	23日	外食行事		5名(OB1名)
	2日	恵方巻き寄贈	7名	
3月	15日	バレンタインお菓子作り		5名
	6日	オーダーメイド型防災訓練	4名	
	7日	オーダーメイド型防災訓練		3名
	29日	世話人送別会		5人
	31日	町内会お花見		3人

- ・オーダーメイド型防火講習会：昨年度に引き続き、文京区から補助金を受けて、東京救急防災の方々に実技を含めた講習をホーム内で実施。AEDの使い方や消火訓練等多岐にわたる訓練内容をメンバー世話人ともに学習することができた。

4. 会議・地域活動

日程	会議名	参加者
毎月 第3火曜	東京都精神障害者共同ホーム連絡会	■■■■■
月1回	ホーム合同会議	■■■■■ ■■■■■

5. 研修

日程	研修名	参加者	
8月 1・2日	初任者研修	■■■	
9月 25日	福祉施設経営基礎研修 経営初級課程	■■■	
12月 2・3日	通過型の可能性を拓く実践研修会	■■■■■	
1月 9・16日	相談支援者従事者初任者研修	■■■	
2月	16日	発達障害研修	■■■
	19日	東京都サービス管理責任者研修	■■■
3月 1・2日	サービス管理責任者研修	■■■	

※事業所と重複している「会議・地域活動・研修」については事業所の事業報告に記載

6. 職員 勤務状況

第2ホームいちょう

常勤職員 退職者 合計1名

代替え世話人 退職者(2事業所兼務) 合計6名

銀杏企画職員 勤務状況

土日祝日の勤務を銀杏企画の職員も担っており、一人当たり年2~3日程度の勤務支援を依頼している。

4月~5月に学生の代替え世話人の人員増により前年に比べて勤務支援の依頼数が減少された。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
勤務数	6	3	0	3	1	3	4	3	7	2	4	5	41

※ホーム職員は除く

7. 文京区精神障害者 単身生活サポート事業 (文京区委託事業)

グループホームを卒業する精神障害者が文京区内で単身生活を始める際に支援を行う事業。

居住確保・生活のサポート支援(24時間対応)を1年間に渡って行う。

年間利用者数	実利用者数 4名 (前年度 継続1名 29年度 新規3名)	回数
退所前支援	本人との面接	15
	カンファレンス出席	2
	不動産屋・物件関係	8
	関係機関との連絡	12
	その他	4
合計		41
入居後支援	本人との面接	15
	居宅訪問	22
	関係機関との連絡	21
	電話・メール相談	51
	不動産屋・物件関係	7
その他	15	
合計		131
総合計		172

※今年度は当法人内より2名・外部より2名の対応を行った。特に外部からの依頼では物件探しのみの依頼・定着支援からの依頼などの部分的な対応となった。「その他」の支援では「行政手続き」・「生活用品の購入」・「家具組立」・「電話の契約」などがあつた。

8. 家族相談支援

浅井氏による家族・当事者を対象とした面接相談支援。事前予約制により 90 分程度で行っている。

リピータの方も多く、毎月、浅井理事長と面談することでほっとされている方が多いように感じられる。 ※予約制 1回 2000 円

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	4	2	5	2	3	5	4	4	1	1	2	36